

令和5年度 学校教育目標等

北海道静内農業高等学校

1 学校教育目標

自ら考え正しく判断できる力を養い、たくましく生涯を生きる生徒を育てる

2 スクール・ミッション

郷土を愛するとともに、地域産業の持続的な成長を担う職業人に求められる資質・能力を身に付けた生徒の育成

3 3つの方針（スクール・ポリシー）

<p>○育成を目指す資質・能力に関する方針</p>
<ol style="list-style-type: none">1 社会の変化に対応し、自ら学び、知識・技能等を主体的に習得する力を育成する。（主体性）2 自ら問題を発見し、筋道立てて考えたり、試行錯誤したりしながら問題を解決する力を育成する。（問題解決力）3 多様な人々との対話や協働を通じて、新たな価値やよりよい社会を創造していく力を育成する。（コミュニケーション能力）4 困難な場面に直面しても、ねばり強くかつ柔軟な発想で人生を切り拓いていく力を育成する。（人間力・社会力）
<p>○教育課程の編成及び実施に関する方針</p>
<ol style="list-style-type: none">1 生徒の生きる力の育成を目指し、社会背景・学校の現状・生徒の現状と地域の実態や要望を踏まえた教育課程の編成・実施に努める。2 基礎・基本の定着を図り、生徒一人ひとりの個性や多様な進路希望に応じた選択教科・科目の設定や教科横断的な取組を推進する教育課程の編成・実施に努める。3 地域、関係機関や企業等との連携による体験学習や資格取得指導を重視した教育課程の編成・実施に努める。4 教育課程の成果等について適切に評価を実施し、常により充実した教育課程の工夫・改善に努める。
<p>○入学者の受入れに関する方針</p>
<ol style="list-style-type: none">1 農、食、環境への興味・関心が高く、意欲的に実習や実験に取り組む生徒2 将来の進路実現に向けて、高い目標を掲げて学業に積極的に取り組む生徒3 学校内外の諸活動（コンクール、発表大会など）や部活動などに積極的に参加する生徒4 思いやりの心を持ち、仲間と協力して前向きに高校生活を送ろうとする生徒

4 指導上の重点事項

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の個性・能力に応じた指導をとおして、主体的に学ぶ意欲・態度の育成に努める。 2 基本的な生活習慣を身に付けさせ、自ら律する規範意識の確立に努める。 3 他者を尊重し、思いやる心をとおして、自ら社会に貢献する態度の育成に努める。 4 学校農業クラブ、生徒会活動や部活動など課外活動の充実に努める。 5 キャリア教育を充実させ、社会の変化に対応して、たくましく生きる力を育成に努める。 6 マイスター・ハイスクール事業を通して、地域に求められる人材の育成に努める。 7 教職員が効果的な教育活動を行うことができるよう、働き方改革の推進に努める。
学習指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 わかる授業の実現を目指し、生徒の実態に即した学習指導の工夫・改善を行い、生徒が主体的に学習する態度の育成に努める。 2 主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行い、基礎・基本となる知識や技能の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力の育成に努める。 3 学習評価の改善・充実を図り、生徒の授業満足度の向上を図るとともに、学校と家庭の連携を密に取り、学習習慣の定着に努める。 4 校内研修を推進し、生徒一人一人の個に応じた学習指導の充実に努める。 5 学校農場、ICT等を活用した学習指導の工夫・改善に努めるとともに、地域や関係機関・企業等との連携を図り、国際理解教育や環境に配慮した農業教育など、時代の要請に対応した人材育成の推進に努める。
生徒指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な生活習慣や授業規律を確立し、ルールやマナーを守る規範意識や基本的な倫理観を育成に努める。 2 相談活動等を充実させ、生徒理解を基盤とし、多様な生徒の状況に応じた生徒指導の推進に努める。 3 「いじめ防止基本方針」の検証、見直し及びいじめ防止に関する取組の充実に努めるとともに、トラブル発生時の適切な初期対応等に努める。 4 学校農業クラブ・生徒会等活動の活性化を促し、生徒が自主的かつ意欲的に取り組む態度の育成に努める。 5 学校・家庭・地域社会が密接に連携し、生徒の多様な行動変化に早期発見・早期対応し、問題行動の未然防止に努める。
進路指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 体系的・系統的なキャリア教育を推進し、望ましい勤労観や職業観を育てるとともに、生徒が主体的に進路選択、自己実現を図るよう支援に努める。 2 生徒一人一人の能力・適性を正しく捉え、進路実現に向けたガイダンス機能の充実に努める。 3 早期に進路目標を持たせ、各種資格取得等に積極的にチャレンジする態度の育成に努める。 4 学年毎の系統的な進路指導計画を作成し、個別面談を繰り返し行うなど、個に応じた進路指導の充実に努める。 5 地域社会や地域産業と密に連携し、地域の期待に応える産業人の育成に努める。
健康・安全指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 体力の向上や生活習慣の改善に向けた取組の充実を図り、生徒の健康の増進に努める。 2 関係機関と連携し、薬物乱用防止教育、性やネットトラブルに関する教育、交通安全、防犯・防災教育の充実を図り、自ら事件・事故等の危機から身を守る能力の育成に努める。 3 自然環境の保全及び教育環境の美化、地域の奉仕体験活動を積極的に取り入れ、情操教育の推進に努める。 4 緊急時や非常時における危機管理体制を確立し、生徒の安全確保に努める。 5 特別支援教育の理解、教師のカウンセリング能力の向上等を通して、特別な支援が必要な生徒に対する指導の充実に努める。